



# 決算 特別委員会

委員長 廣部 真造

## 令和5年度 一般会計歳入歳出決算

令和5年度の一般会計決算は、歳入決算額327億8978万円、歳出決算額321億8072万円となり、歳入歳出差引額は6億906万円で、翌年度へ繰り越すべき財源5357万円を控除した実質収支額は5億5549万円となりました。

歳入決算額を財源別にみると、自主財源が99億6510万円で歳入全体の30・4%、依存財源が228億2468万円で歳入全体の69・6%を占めています。前年度比は5億2892万円の増で1・6%の増加率となりました。これは、財政調整基金からの繰入金などの減少要因があったも

の、保育園や学校施設の大規模改修事業、子ども家庭総合支援拠点整備事業、次期防災行政無線整備事業にかかる合併特別債の発行による市債の増、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金などの国庫支出金の増が主な要因です。

歳出決算額の主な款別執行額は、民生費103億1654万円、総務費36億866万円、公債費34億3170万円、教育費30億929万円となりました。前年度比は6億9335万円の増で2・2%の増加率となりました。これは、コロナ対策支援事業や団体客誘致支援助成金の終了などの減少要因があったものの、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の給付、子ども家庭総合支援拠点施設整備や次期防災行政無線整備にかかる工事費などによる増が主な要因です。

決算審査に当たっては、予算執行の結果や行政効果を客観的に検証し、今後の予算編成や財政運営に活かされるよう審査を行いました。

### 採決の結果

議第66号および議第67号は「可決および認定すべきもの」、その他7議案は「認定すべきもの」と決定しました。

### 本会議での討論

議第61号 令和5年度高島市一般会計歳入歳出決算

賛成 磯部 亜希 議員

実質公債費率が改善され、これまでの行財政改革の取り組みや事業の成果を確認することができた。なかでも、医療費無料化の高校生世代までの拡充や、新ごみ処理施設の整備事業の着実な歩みなどの成果が認められる。

反対 福井 節子 議員

財政見通しで「大型公共事業である後継ごみ処理施設整備等に多額の費用」と監査委員からの厳しい指摘。いちご事業3億7375万円が収入未済額の内数記載もない。2件の訴訟に対応する弁護士費用を決算。説明責任も果たされていない。

### 本会議での討論

議第66号 令和5年度高島市水道事業会計利益の処分および決算の認定

賛成 是永 宙 議員

給水人口の減少などにより水需要が減少傾向にあり、加えて管路や設備の老朽化が進行し厳しい経営環境が続いている。経営の効率化や健全化の取り組みで、経営の努力・工夫が認められることから、認定すべきと判断する。

反対 森脇 徹 議員

水道料金を15%引上げ、7700万円増収。コロナ支援で国から1139万円あり、1億3千万円もの純利益も。自己資本組入れ1億余円や減債基金積立てに3400万円を充てるが、それらを19600戸の利用料軽減に対応できた。

